

## 合併建設計画 事業について

## 市事業

施策	項目	事業名	事業内容	検討結果	検討における考え方
活力ある産業が展開するまち	交通体系	巻潟東インター周辺整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻潟東インターに停車する高速バスの運行頻度が非常に多いという特性を活かして、駐車場や送迎スペースの充実を図る等、高速バス利用を促進する交通拠点づくりを行う。</p> <p>【主な事業内容】 案内標識の設置事業 巻・潟東IC周辺の各施設利用者等に対して、IC出口と各工業団地アクセス路入口付近に案内板を設置し、スムーズな誘導を行うものである。案内板設置：約20基 高速バス乗り場周辺環境整備事業 高速バス利用者の夜間における安全確保のため、高速バス停、駐車場、通路等に適宜街灯を設置するとともに、滞留スペースの確保や階段、待合所等の美化を図っていく。また、利用者の動線に沿って案内板を適宜配置する。 送迎スペース整備事業 高速バス利用者に対して家族等の送迎施設を整備し、安全・快適かつ円滑に乗降できるようなスペースを確保する。 待合施設等の整備 高速バス利用者のより一層の利用環境の向上のために、高速バス乗り場と送迎用スペースに隣接して「待合い・トイレ施設」を整備する。また、高速道路の混雑状況や通行止め状況、高速バス運行状況が確認できる情報案内板の設置を行う。 パークアンドライド駐車場整備事業 駐車場不足により発生している路上駐車を解消するため駐車場を整備し、通勤・通学等の高速バス利用者の利便性を高める。 駐車場整備：220台（新規：160台 既存：60台）150台程度増設可能なものとする。</p>		巻町提案のコンセプトのとおり  ただし、パークアンドライド駐車場整備については、今後の需要見込み等を勘案し、巻町が増設分として提案している駐車場についても同時に整備することとし、310台程度の駐車場を新規に整備する。
		巻潟東インター周辺道路整備事業	<p>【事業目的・効果等】 パークアンドライド駐車場に出入りする車両が、(主)長岡・栃尾・巻線の交通の流れをできるだけ妨げないよう配慮しつつ、パークアンドライド駐車場周辺の道路基盤整備を行う。 特に、高速道路西側の側道については、高速バスを利用する歩行者の安全を守るために、幅員2.5mの歩道を確保するとともに路上駐車を排除する。</p> <p>【主な事業内容】 整備延長：1,000m</p>		巻町提案のコンセプトのとおり
		巻駅地下通路整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻駅構内に、横断地下通路を建設し住環境の向上を図る。 巻駅は、駅の一基準である乗降者数5,000人/日を上回り、昭和40年代後半に開通した国道116号沿線には当初、農業高校、税務署等の公共施設建設を始め、住宅開発が進み、近年は商業施設の開発が進み新市街地となっている。 既存の巻駅西側の市街地と先の新市街地との連携を図ることは巻町の活性化のために必要である。</p> <p>【主な事業内容】 地下通路 全長：68m、幅員：3.5m</p>		公共交通機関への利用促進や鉄道による地域分断の解消が図られることから、整備の必要性は高いが、事業化にあたってはJRの協力が必要となるため、協力が得られるように今後協議を行っていく必要がある。
多様な交流ができるまち	観光	道の駅整備事業	<p>【事業目的・効果等】 巻町福井地内の「じよんのび館」を中心とした一帯を「ほたるの里」として町で整備を行っているが、この隣接地に「道の駅」を整備する。 現在、ほたるの里周辺には、角田山登山道や日帰り温泉保養施設「じよんのび館(3セク運営)」、角田山の美しく自然豊かな動植物を紹介した「角田山自然館」、ふるさとの川の認定を受けた矢垂川の「ほたるの里公園」、日本初の認可を受けた地ビール園「エチゴビール」があり、優れた自然景観の中で健康増進・リフレッシュに多くの方が訪れている。 しかし、休憩・軽食・物産販売・地域情報発信の場がないことから、「道の駅」を休憩・地域情報発信の中心として活用すると共に、隣接する農村改善センター内に軽食・物産販売を行い、「道の駅」を核に地域活性化の一大拠点として整備する。</p> <p>【主な事業内容】 駐車場(大型20台・小型20台)、トイレ、情報・休憩施設</p>		ほたるの里公園内にすでに駐車場があることや、通過交通量が少ないことからみて、現時点での当事業の緊急性は高くないと考える。 しかし、ほたるが飛び交う安らぎの場として、また、観光客を誘致できる施設整備など周辺一体の整備について検討の必要はあるため、今後国道460号の整備状況や集客状況をみながら対応していく。
自然と共生できるまち	防災・消防・防犯	防災気象情報システム整備事業	<p>【事業目的・効果等】 暴風雨初期における迅速かつ総合的な防災対策実施への情報提供のほか、床上・床下浸水等の被害の予測、火災予防及び警防活動の早期配備体制の確立、防災対策の基礎的情報の蓄積・解析を行う。</p> <p>【主な事業内容】 合併に伴い新潟市に設置の既存測定局以外に測定局を設置する。 ・新設測定局装置の導入 ・新設測定局装置の設置小屋 ・防災課、消防局にある中央監視局、端末局の変更</p>		新潟市提案のコンセプトのとおり
		防災行政無線整備事業(地域系)	<p>【事業目的・効果等】 合併市町村間における通信手段の一本化により地震等大災害発生による電話回線使用不能時の情報収集、連絡体制の確保を図る。</p> <p>【主な事業内容】 新潟市防災行政無線設置の基準により、市関係部署、避難所等に防災無線を設置する。 ・半固定局18局 ・車携帯局5局 260MHz帯のデジタル無線設備を設置</p>		新潟市提案のコンセプトのとおり

施策	項目	事業名	事業内容	検討結果	検討における考え方
自然と共生できるまち	防災・消防・防犯	防災行政無線整備事業(同報系)	<p>[事業目的・効果等] 巻町地域の海岸部に屋外子局を増設することにより、地震や津波避難対策として、緊急情報を市民にいち早く知らせることができる。</p> <p>[主な事業内容] 現行の設置状況に合わせ、巻町の海岸部に屋外子局を増設する。また、電波が到達しない部分があるため、再送信子局(簡易中継設備)を設置する。 ・屋外子局増設5局 ・再送信設備付屋外子局3局 ・親局等設備改修</p>		新潟市提案のコンセプトのとおり
		高機能消防指令センター総合整備事業	<p>[事業目的・効果等] 合併後の新市域をカバーできる最新の技術と融合した新消防緊急通信指令施設の構築を図り、合併後においても迅速・確実な出動態勢を確保し、市民サービスの均一化と安全確保に努めるものである。</p> <p>[主な事業内容] 消防緊急通信指令施設概要(主要装置) 指令装置、自動出動指定装置、NTT発信地表示装置、指令電送装置 地図検索装置、車両動態位置管理装置、無線設備、消防ITシステム 災害情報配信システム</p>		新潟市提案のコンセプトのとおり
ゆとりと潤いのあるまち	生涯学習	図書館建設事業	<p>[事業目的・効果等] 公民館内の狭隘な図書室では、現代の町民が抱く多様なニーズに応えきれなくなっている。また、町内に大学1校、高等学校3校(内1校はH16年度をもって廃校)、中学校2校、小学校5校があり、学習スペースとしても図書館が待望されている。 そこで、総合体育館と児童館に隣接した用地に、郷土資料館を併設した図書館を建設することによって、文化・スポーツ・学習ゾーンが一元化される。この整備事業によって、複合的かつ総合的な事業展開も容易に可能となり、住民のコミュニティの向上も期待できる。</p> <p>[主な事業内容] 建物 鉄筋コンクリート造り2階建て(郷土資料館併設) 一般閲覧室 児童コーナー AVコーナー 書庫 整理室 事務室 機械室 学習室 視聴覚室 会議室 その他</p>		白根市、岩室村、西川町(建設中)、月潟村、潟東村の図書館は、合併後、地域の図書館として活用することとなる。 従って、他市町村とのバランスを考慮すると、事業区分を広域的に有益な事業から地域バランスの均衡を図る事業に変更した上で、施設整備の必要はあると考えられる。 なお、郷土資料館は既存施設を活用することとし、併設はしない。
		総合体育館建設事業	<p>[事業目的・効果等] 町民の生涯スポーツ・レクリエーション活動などを推進するにあたり、「いつでも、だれでもが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる」拠点施設を設置し、健康づくりなども含めた住民サービス向上を図る。 現在巻町には、巻・漆山体育館の2施設があるが、巻体育館は昭和39年、漆山体育館は昭和45年に旧小学校、旧中学校の学校施設として建設され、その後、学校の統合等により不要となった施設を有効利用しながら現在に至っている。そのため、老朽化が進んでおり、併せて住民のスポーツ等ニーズに応える施設となっていない。 老朽化している2施設は改修等を行い、今後も利用していく。</p> <p>[主な事業内容] 建物 鉄筋コンクリート造り1F メインアリーナ 柔剣道場 チャイルドルーム ステージ ランニングコース 相談室 トレーニングルーム 会議室 事務室 その他</p>		総合体育館については、新市全体の観点で策定した新潟地域合併建設計画において同様施設の整備が合意されている。 既に合意済みの西川町提案の総合体育館建設事業を実施する際に、西川町・潟東村・岩室村地域及び巻町地域はもとより、全市的な利用形態を検討したうえで整備を図ることとしている。 従って巻町提案の「総合体育館建設事業」は登載しないこととするが、巻町は城山運動公園において屋外スポーツ施設を集約しているため、新たに市民ニーズの高いトレーニング施設を持つ屋内体育施設等を整備することで城山運動公園の機能を拡充し、年間を通じたスポーツ環境作りを進めることとする。
	スポーツ・レクリエーション	城山運動公園整備事業			第2回任意協議会で、巻町提案 事業として「国民体育大会ホッケー競技会場整備事業」「城山運動公園駐車場整備事業」「城山第2野球場整備事業」を示したが、「屋内体育施設整備(トレーニング施設含む)」を追加し、「城山運動公園整備事業」として広域的な施設として一体整備を図り、事業区分も 事業とするものである。 既存施設としては、芝生広場、わんぱく広場、アスレチック広場、スタンド付野球場、多目的広場、テニスコート等が整備され、家族連れや若者などに広く利用されている。合併建設計画においては、現状を踏まえて新たに次の施設整備を行うこととし、年間を通じた新市における生涯スポーツ・レクリエーション活動の拠点化を図る。  [主な事業内容] ・国体ホッケーコート芝整備 ～平成21年開催の第64回国体が必要とされる人工芝等の施設整備 ・駐車場整備 ～現状では駐車スペースが少ないため整備 ・屋内体育施設整備(トレーニング施設含む) ～年間を通じた生涯スポーツ・レクリエーション活動の施設として整備 ・第2野球場整備 ～竹野町野球場の代替施設整備にあたっては、その必要性を検証

県事業

活力ある産業が展開するまち	交通体系	道路整備事業(国道460号)	<p>[事業目的・効果等] 巻町大字河井の交差点から巻・潟東インター交差点を経由して潟東村大字今井の交差点まで自転車・歩行者道を設置する。 国道460号には歩道が整備されておらず、かつ車の交通量が多く、漆山地区や潟東方向からインターの高速バスを利用する利用者にとって危険が伴っている。自転車・歩行者道を設置することにより、歩行者等の安全が確保でき、かつ交通事故の減少に寄与できる。</p> <p>[主な事業内容] 今後、県と協議するものとする。</p>	協議中	
		道路整備事業(主要地方道長岡栃尾巻線)	<p>[事業目的・効果等] 交差点改良 (主)長岡栃尾巻線の交差点形状から工業団地へのアクセス路に流入する時に特に大型車が流入しにくく、また、巻町方面から流入する場合は、右折レーンが確保されていないため渋滞の要因となっており、これを解消する。 交差点を改良することにより、渋滞が解消され、交通の流れがスムーズになる。 歩道整備 (主)長岡栃尾巻線について中之口村方面から高速バス乗り場に向かう自転車、歩行者の安全な歩行空間を確保するため自転車歩行者道を整備する。 自転車・歩行者道と自動車道を分離することにより、交通事故の減少に寄与できる。</p> <p>[主な事業内容] 今後、県と協議するものとする。</p>	協議中	